

令和2年度大阪府立伯太高等学校運営協議会 第2回議事録

令和2年11月7日(土)

<協議会委員参加者>

- 田中恒子 (地域教育相談員)
- 西田芳正 (大阪府立大学人間社会学部教授)
- 仲島浩 (和泉市立和泉中学校長)
- 富永順三 (ナレッジパートナー(株))

<当日の次第>

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 令和2年度学校経営計画の進捗状況
- 4 今年度の進路状況について
- 5 生徒・学校の状況
- 6 授業見学
- 7 その他 次年度使用教科書一覧
- 8 本校の教育活動に関する意見交換
- 9 校長謝辞

[主な質問、意見等]

○は質問、→は答え、●は意見や感想

○ほとんど授業中に騒ぐ生徒はいなくなった

○生徒の出欠状況はどうか。学年による違い等あるのか。

→1年生はほぼ休まない。3年生は出席状況がよくない。学年によって違いがある。

現在3年生の学年は1年の時から休みが多かった。

また、学年が上がるにつれて、欠席や遅刻が増える傾向があるのも事実。

本校を受験する生徒の状況、入学試験の倍率も関係があるのではないか。

学校全体としては、遅刻が増えてきて、欠席は減っている

体調不良で休む生徒が減った。しかしながら友達と一緒に遅刻する生徒が増えた。

遅刻することが悪いという意識が低くなっている。

○コロナウイルス感染症はどのような状況になっているのか。

→8月末に陽性の生徒がでて、3日間臨時休業を行った。

マスクの着用や手指消毒の徹底を続けていきたい。

学校ではコロナ感染症に伴う人権上の指導もしている。

6月から分散登校が始まり、夏休みも短く、今の時期になって休みが続く生徒がみられる。

経済的に苦しい家庭も出てきている可能性もある。SCやSSWにつなげて支援をしていく方向。

○3年生の進路の状況はどうなっているのか。

→進学（専門学校）希望が多い。ほとんどの生徒が予約奨学金を申し込んでいる。

就職者が若干減少している。

学校に来る求人の数は、例年より25～30%減の状況。特に女子の販売の求人が減っている。

大阪南部の、特に関空にかかわる仕事も求人がない状況。

例年行っていた応募前職場見学についても、コロナウイルス感染症の関係で実施できないケースが増えている。

希望の求人がなく、一次の受験を見送った生徒が例年より多くいた。

公開求人の中には、ネットで面接を行うケースも1件あった。

進学については、関大、同志社女子大、東海大学などに合格する生徒も出てきている。

●コロナウイルス感染症の影響が、生徒の進路に影響を落とさないように願う。

○総合学科になって受験にはメリットデメリットはあるのか。

→普通科総合選択制から総合学科になり、選択科目が増えた。選択の中で、進学を希望する生徒は、受験に必要な科目をとることができる。

○希望する講座を必ず受講できるのか。

→施設の関係もあるので、抽選しないといけないこともある。

芸術や家庭科の実習については、希望が多いので抽選になることもしばしばである。

○学校のオンライン授業の関係はどうなっているのか。

→GIGAスクール構想により、大阪府は来年生徒全員に一台のタブレットを配る予定。

学校では、WIFIの工事が12月ごろから始まる。学校の中はアクセスポイントが増える。

ただし現状では、通信容量の関係で一斉にみんなが使うと止まる可能性も多い。

○大学をめざす生徒が少ない。受験する生徒の層を広げる必要があるのでは。

→学校としては、1年次より勉強合宿をしたり、講習をするなど、生徒の勉学に対する意識を高めるよう

にしている。

●中学校で面接指導をしていると、伯太高校を受験したい生徒は、将来こんな仕事をしたいなど職業に関するイメージは描けているが、大学に行きたいと答える生徒はほとんどいない。別の高校を希望する生徒は、大学へ行きたいと答えるが職業に関するイメージは描けていない。大学に行ってから考えると返事する。

●生徒の様子は、以前に比べると落ち着いている。頭髪・服装もきちんとしている印象。

●授業見学でも、目立つ服装・髪型の生徒はほとんどいなかった。服装も頭髪もきちんとしていた。

→服装・頭髪指導の成果が出てきている。授業中も落ち着いているし、懲戒も減っている。

生徒同士のけんかや喫煙といった生徒指導上の問題は減っている。

最近では、暴言や SNS 関係の指導が増えている。メールやラインで人を傷つける言葉を書いたり、動画を取りネットにあげるといったこともある。SNS で飲酒の写真を載せる等の案件が以前からあったが、今年は SNS で悪口を書きあうといった件がふえた。発覚もしにくいし、指導もしにくい。

また校内で盗難がある。犯人の特定はなかなか難しい。被害を受けないように施錠や自己管理の徹底を行っていきたい。

○祭りがなかった影響は

→祭りの時期になると、生活が乱れ学校生活に支障がみられる生徒が少なからずいる。祭りがなかったので学校は全体的に落ち着いていた。

○3年で卒業する生徒の数は

→長期欠席で学校に登校できない生徒が、退学していくケースも多い。

家庭環境や友人関係が原因であることも多い。

○ヤングケアラーの把握は

→学校の把握は難しいところもある。

家庭の背景、経済事情が学校生活に影響を与えることも多い。欠席が続く生徒の中には家庭環境が問題であるケースもあるので、注意深く見守っていきたい。